



# 湊屋だより

ホームページ <http://www.minoji.minatoya>

平成 30 年 2 月号

No. 41

## 逆 行

現世はめまぐるしく進化する。どこまでいくのか想像が不可能になる。5年先に見る世界はどの展開になるのか目を見張るだけである。我が身は、すっかり追いやられオロオロするだけ。便利な世になるけれど、失うものも大きい……。どうせはじき飛ばされた我が身、あせってみたって出来ないことはあきらめるしかない。こうなったら過去のものを保護する方向に尽力したのがいい。私達の積み重ね築きあげた今日までの歴史なら迷わず対応出来る。過去の諸々に磨きをかけることなら出来る。失いつつある衣食住等への日本的思考に集結したがよいのではなかるうか。その見直した行動に移すのが私を含んだ高齢者の役目でもある。過去に思いをはせ、深く考えていると、心が落ちついて冷静になれる。それだけに終わらないで夢と希望も湧いてくる。

## 寺と湊屋

旧尾西市に浄土真宗の寺が23ヶ寺ある。起の徳行寺様を筆頭に3ヶ寺とご縁をいただいた。3ヶ寺とも戦禍をまぬがれ100年以上の建造物になる。寺の雰囲気をお私にはうれしい限りである。徳行寺様からは、催事においてのお齋の料理の御依頼を受け、報恩講にもお招きをいただいた。花井方の光楽寺様からは供養祭にそして東五城の應蓮寺様にも……。それぞれ寺の住職達は別なる世界を拓げて下さる。徳行寺の水谷様は二期会のオペラ歌手として外科医。應蓮寺の足立様は俳句の世界で輝いていらっしやる。81才のパワフルな言葉には感服することが多い。どの宗教家も確立したものが有りどこまでも深い。優しい親近感で私達を受け入れていただける。寺の世界も湊屋も穏やかにユックリとした空気が流れる。数多く残る他の神社・仏閣にもつながってみたいものである。この分野の結束により、消え行く伝統文化と歴史の真価にスポットを当てたいと思うけれど。

## お仲間

古き歴史を込めた田内家はその趣のある建造物を開放して、再生の方向に進めていただき心強く思います。起という地域に戦禍をまぬがれた重厚な民家を多く見られるというところは、申すに及ばず繊維業での経済効果がその建造物に残し今日に至っております。ノコギリ屋根群とともに消したくない風景です。と同時にこう願う人は最近富が増えてきていることを感じずにはいられなくなってきました。二軒目に三軒目にもと、どんどん増えてくれることを願うばかりです。

『近代建築再生スクール』として講座を起ち上げて下さいました実行委員会の皆様ありがとうございました。この講座を通じて起の歴史を中心に今後の方向を目指すべく勉強会で大きな力を結束させ踏み出していただけますことに感謝するばかりです。

2018年 1月26日 PM6:30～  
『まちマナーゼミント』

2018年 2月 9日 PM6:30～  
『おこしの暮らし』

2018年 2月23日 PM6:30～  
『創業資金について』  
2018年 3月 9日 PM6:30～  
『利益を出すためには』

以上、田内家においての各講座内容です。  
会費：各1,000円。場所：一宮市起西生出72

足立住職の俳句です。  
『初雪や 犬の足跡 初参り』

初参り  
足立住職  
犬の足跡

